



平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 ニチイ学館
 コード番号 9792 URL <http://www.nichiigakkan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 嶺
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務本部長兼経理部長 (氏名) 寺田 孝一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3291-2121

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	159,422	—	△392	—	△552	—	△1,319	—
20年3月期第3四半期	147,323	△3.8	1,796	△14.1	1,931	△10.6	276	△69.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△37.52	—
20年3月期第3四半期	7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	120,374	47,631	47,631	39.4	1,365.58	
20年3月期	121,284	50,609	50,609	41.6	1,432.54	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 47,457百万円 20年3月期 50,454百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
21年3月期	—	11.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	7.6	1,000	△53.9	580	△71.6	△720	—	△20.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	36,508,976株	20年3月期	36,508,976株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,755,995株	20年3月期	1,288,636株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	35,166,243株	20年3月期第3四半期	35,220,844株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(四半期財務諸表に関する会計基準)

(1) 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日)の事業環境は、介護分野において、平成21年4月実施予定の介護報酬のプラス3%改定(うち在宅分1.7%、施設分1.3%)や、景気の急速な悪化を受け、介護分野が新たな雇用を創出する産業として注目されつつある中、公的機関による職業訓練、資格取得支援、人材定着に関する様々な施策が検討されるなど、大きな変化に直面しております。

ニチイグループでは、収益力の回復やサービス提供基盤の整備、人材供給力の強化に注力し、中長期的な視野での事業成長戦略に取り組んでまいりました。

経営成績につきましては、医療機関との契約の適正化に伴う契約医療機関数の減少や居住系介護事業における先行費用の発生等により、厳しい結果となりましたが、上期にオープンした居住系介護施設の稼働率の上昇や教育事業における主力講座の受講生数の増加等、居住系介護事業、教育事業を中心に収益性が改善傾向にあります。

当第3四半期累計期間における売上高は159,422百万円(前年同期は147,323百万円)、営業損失は392百万円(前年同期は営業利益1,796百万円)、経常損失は552百万円(前年同期は経常利益1,931百万円)、四半期純損失は1,319百万円(前年同期は四半期純利益276百万円)となりました。

<医療関連事業部門>

医療関連事業においては、今後の医事業務受託市場の安定化と当社の1医療機関あたりの利益水準の最大化を図るため、中長期的な視野での既受託医療機関との契約の適正化に取り組んでまいりました。

当期においては、契約の見直しに伴い一時的に契約医療機関数が減少し、損益に影響を及ぼすところとなりましたが、既受託医療機関におけるスタッフスキルの強化や医療事務講座の修了生の就業促進を図るなど、人材供給力を中心とした今後の成長基盤の強化を図ってまいりました。

11月には本社組織に「コンサルティング事業部」を設置するなど、経営支援サービスの本格的な展開に向けサービスメニューの拡充、組織体制の強化を推し進めております。

当第3四半期累計期間における売上高は75,983百万円(前年同期は82,327百万円)、営業利益は6,112百万円(前年同期は営業利益7,741百万円)となりました。

<ヘルスケア事業部門>

ヘルスケア事業では、在宅系介護サービスにつきましては、平成18年の介護保険制度改正以降厳しい状況が続いておりましたが、7月以降各月のケアプラン作成件数やサービス利用者数が前年を上回って推移する等、回復基調を辿りました。

居住系介護サービスにつきましては、支店網を有効活用した営業強化の効果が表れ、施設入居者数は増加トレンドを維持しており、居住系介護サービスの収益性は改善傾向にあります。

10月には、清掃など家事全般を代行する「家事代行サービス」の全国展開を開始し、生活支援分野へのサービス領域の拡大を図りました。

当第3四半期累計期間における売上高は74,751百万円(前年同期は56,560百万円)、営業損失は747百万円(前年同期は営業利益442百万円)となりました。

なお、平成19年9月に完全子会社化した株式会社ニチイケアパレス及び株式会社コムソンの居住系介護サービスの承継会社(株式会社ニチイのほほえみ、株式会社ニチイのきらめき、株式会社ニチイホーム、株式会社ニチイ関東)は12月決算であることから、平成20年1月1日から平成20年9月30日までの経営成績が含まれております。

<教育事業部門>

教育事業においては、主力講座の拡充に取組み、また、4月の診療報酬改定において病院勤務医の事務作業を補助する医師事務作業補助者の配置が評価対象となったことを受け、医師事務作業補助者を育成する「メディカルドクターズブランク講座」の展開を10月より開始するなど、医療・介護現場のニーズに合致した講座の開発・提供にも注力いたしました。

販促活動につきましては、レスポンス率と効率性を追求した広告展開の継続実施、講座体験フェアの全国開催等を行いました。

主力講座である医療事務講座とホームヘルパー2級講座の受講生数が堅調に推移し、教育事業の売上高は5期ぶりに前年同期を上回って推移しております。

当第3四半期累計期間における売上高は8,196百万円(前年同期は7,833百万円)、営業損失は1,019百万円(前年同期は営業損失1,192百万円)となりました。

<その他事業部門>

その他事業においては、情報処理、物品の保管・発送業務、花卉・種苗の生産販売を展開しており、各サービスの効率的な展開に努めてまいりました。

当第3四半期累計期間における売上高は490百万円（前年同期は601百万円）、営業利益は272百万円（前年同期は営業利益185百万円）となりました。

なお、前年同期の金額は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ910百万円減少し120,374百万円となりました。主な要因は、無形固定資産のその他が1,704百万円増加し、流動資産のその他が1,256百万円、建物及び構築物が1,058百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、2,067百万円増加し72,742百万円となりました。主な要因は、短期借入金が増加し、賞与引当金が1,515百万円及び社債が1,480百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、2,977百万円減少し、47,631百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

ニチイグループの平成21年3月期通期の業績見通しにつきましては、平成20年11月11日発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高215,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益580百万円、当期純損失720百万円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 簡便な会計処理

たな卸資産の簿価切り下げにあたっては、収益性の低下が明らかな、たな卸資産についてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・ 会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,223,732	3,725,993
受取手形及び売掛金	25,206,665	25,666,006
商品	326,136	335,133
製品	66,403	64,072
半製品	28,970	44,615
原材料	377	546
仕掛品	16,483	30,320
その他	7,886,437	9,142,961
貸倒引当金	△139,250	△159,089
流動資産合計	37,615,956	38,850,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,456,797	28,514,834
その他(純額)	9,220,560	8,905,793
有形固定資産合計	36,677,358	37,420,628
無形固定資産		
のれん	20,218,638	20,824,684
その他	3,460,547	1,756,064
無形固定資産合計	23,679,186	22,580,749
投資その他の資産		
その他	23,180,249	23,123,814
貸倒引当金	△778,102	△690,939
投資その他の資産合計	22,402,146	22,432,875
固定資産合計	82,758,692	82,434,252
資産合計	120,374,648	121,284,814
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	762,567	1,751,233
短期借入金	5,790,000	313,000
未払法人税等	509,562	690,768
未払費用	16,224,444	16,199,170
賞与引当金	1,504,567	3,019,660
役員賞与引当金	10,540	36,000
その他	9,291,599	8,998,796
流動負債合計	34,093,281	31,008,630
固定負債		
社債	—	1,480,000
長期借入金	28,025,531	28,025,416
退職給付引当金	3,695,633	3,384,767
役員退職慰労引当金	140,778	143,208
その他	6,787,732	6,633,527
固定負債合計	38,649,675	39,666,919
負債合計	72,742,956	70,675,550

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,354,214	17,354,214
利益剰余金	24,591,692	27,075,682
自己株式	△6,435,472	△5,935,860
株主資本合計	47,444,224	50,427,827
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,604	26,761
評価・換算差額等合計	13,604	26,761
少数株主持分	173,863	154,675
純資産合計	47,631,692	50,609,264
負債純資産合計	120,374,648	121,284,814

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	159,422,201
売上原価	131,727,027
売上総利益	27,695,174
販売費及び一般管理費	28,087,822
営業損失(△)	△392,648
営業外収益	
受取利息	22,883
受取事務手数料	65,571
固定資産賃貸料	184,962
その他	84,176
営業外収益合計	357,594
営業外費用	
支払利息	405,308
社債利息	31,499
その他	80,399
営業外費用合計	517,208
経常損失(△)	△552,262
特別利益	
固定資産売却益	908
特別利益合計	908
特別損失	
固定資産除却損	15,099
投資有価証券評価損	4,923
関係会社株式評価損	3,999
貸倒引当金繰入額	75,000
特別損失合計	99,022
税金等調整前四半期純損失(△)	△650,376
法人税、住民税及び事業税	429,982
法人税等調整額	215,378
法人税等合計	645,361
少数株主利益	23,687
四半期純損失(△)	△1,319,425

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		147,323,129 100.0
II 売上原価		118,192,599 80.2
売上総利益		29,130,530 19.8
III 販売費及び一般管理費		27,333,534 18.6
営業利益		1,796,996 1.2
IV 営業外収益		
1. 受取利息	129,372	
2. 受取配当金	5,730	
3. 事務受託料	66,571	
4. 固定資産賃貸収入	21,803	
5. 法人税等還付加算金	30,230	
6. 施設賃貸収入	37,340	
7. その他	49,778	340,827 0.2
V 営業外費用		
1. 支払利息	100,928	
2. 社債利息	57,209	
3. 損害賠償金	7,805	
4. 差入保証金解約損	33,583	
5. その他	6,421	205,948 0.1
経常利益		1,931,874 1.3
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	489	
2. 投資有価証券売却益	21,000	
3. 関係会社株式売却益	20,999	
4. 貸倒引当金戻入益	68,758	111,247 0.1
VII 特別損失		
1. 固定資産除却損	41,510	
2. たな卸資産評価損	216,258	
3. 和解金	180,000	
4. ブランド変更費用	123,591	561,360 0.4
税金等調整前四半期純利益		1,481,761 1.0
法人税、住民税及び事業税	378,020	
法人税等調整額	803,298	1,181,319 0.8
少数株主利益		23,471 0.0
四半期純利益		276,970 0.2